

令和 7年度予算見積調書

課室名：交通政策課

担当名：鉄道担当

内線：2228

(単位：千円)

番号	事業名				会計	款	項	目	説明事業		
P31	駅ホームの転落防止対策推進事業費				一般会計	総務費	企画費	企画調整費	県内既設鉄道整備促進費		
事業期間	平成25年度～令和8年度	根拠法令	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律				針路分野施策	090902	未来を見据えた社会基盤の創造 埼玉の価値を高める公共交通網の充実	SDGsゴール SDGsターゲット	9, 11 9-1, 11-2
1 事業の概要 駅ホームからの転落事故等を防止するため、ホームドア及び内方線付き点状ブロックの整備経費を補助し、また、視覚障害者への声かけ・サポート方法の普及啓発を行う。			5 事業説明 (1) 事業内容 ア ホームドア設置促進事業 1日利用者数1万人以上駅等でのホームドアの整備に対する補助を実施する。 イ 点状ブロック整備促進事業 (ア) 1日利用者数3千人以上駅等での内方線付き点状ブロックの整備に対して補助を実施する。 (イ) 声かけサポート事業を実施する。 (2) 事業計画 ア ホームドア設置促進事業 平成25～29年度 モデル事業として、ホームドア整備に対する補助を実施する。 平成29年度～ 1日利用者数10万人以上駅等でのホームドア整備に対する補助を実施する。 平成29～令和元年度 2020年東京オリンピック・パラリンピック大会競技会場最寄駅でのホームドア整備に対する補助を実施する。 令和2年度～ 1日利用者数1万人以上駅等でのホームドア整備に対する補助を実施する。 イ 点状ブロック整備促進事業 平成25年度～ 内方線付き点状ブロックの整備費の補助を実施する。 平成29年度～ 声かけサポート事業を実施する。 (3) 事業効果 ア ホームドア設置を促進する。 イ 視覚障害者の転落事故が減少する。 【活動指標（アウトプット）】ホームドア及び内方線付き点状ブロックへの補助実施 【成果指標（アウトカム）】駅ホームからの転落件数の減少								
2 事業主体及び負担区分 ア (県1/4) 市町村1/4・事業者1/2 又は (国1/3又は1/2・県1/6) 市町村1/6・事業者1/3 イ (県1/4) 市町村1/4・事業者1/2 又は (国1/3又は1/2・県1/6) 市町村1/6・事業者1/3			8,862千円 290千円								
3 地方財政措置の状況 国庫補助対象事業の地方負担額に特別交付税措置あり											
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.9人=8,550千円											

予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との対比
		寄 附 金							
決定額	9,152	500						8,652	△782
前年額	9,934							9,934	

事業内訳書

事業名	駅ホームの転落防止対策推進事業費		
単位事業名	ホームドア設置促進事業	予算額	8,862千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
寄附金・ 企画費寄附金	500	500	地方創生応援税制寄附金
一般財源	8,362	△500	
合計	8,862	0	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	12	0	補助金検査等 6回
負担金、補助及び交付金	8,850	0	1日利用者数1万人以上の駅等に対する補助
合計	8,862	0	

単位事業名	点状ブロック整備促進事業	予算額	290千円
-------	--------------	-----	-------

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	290	△782	
合計	290	△782	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	19	6	補助金検査等 6回
負担金、補助及び交付金	271	△788	1日利用者数3千人以上の駅等に対する補助
合計	290	△782	